

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

施策		商工業の振興		期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	産業振興部 商工振興課
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象	深谷市の商工業の振興を目的とする。 商工業の活性化や商店街振興、企業誘致・留置、起業支援等を行う。		
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
	小項目	1	商工業の振興				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度		まちづくりアンケート結果によると、本施策は重要度も満足度も低い状況である。しかしながら、商工業の振興は市内経済の発展や、まち全体の活性化のために不可欠な施策である。		施策推進のための主な取組	中小企業経営の安定化と成長を支援 商工業の活性化や商店街のにぎわいづくりを支援 企業誘致・留置への取り組み 起業しやすい環境づくりへの取り組み		
施策を取り巻く社会状況等		景況感が改善しつつあるものの、原材料価格の高騰や記録的な円安、人手不足など中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は厳しい。					

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標	法人市民税額	百万円	1,420.00	1,300.00	1,330.00	1,360.00	1,390.00	1,420.00
	市内の法人市民税（均等割と法人税割の合計）		1,217.00	1,306.00				
	新たに誘致した企業数（累計）H18.6以降の累計数	社	72.00	64.00	66.00	68.00	70.00	72.00
	工場等立地促進事業者指定申請書		62.00	63.00				

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
法人市民税額が昨年に比べて89百万円上昇しており、緩やかではあるが市内経済が回復傾向にあるものと判断できる。一方で、原材料価格の高騰や原油高、記録的な円安など事業者を取り巻く環境は依然厳しい状況である。令和5年度は運送事業者等への応急的な支援を実施したほか、政策的な支援として、市内事業者の経営革新計画の策定を支援する取組を実施し事業者支援を行った。				
		評価者	商工振興課長 茂木 隆行	

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
☐ 既存事業の拡充	社会情勢に対応した施策や、市内経済の活力を引き出す取組を実施して市内産業の振興及び活性化を図っていく。商店街振興に関しては、地域通貨ネギーを活用した振興策を検討する。
☐ 事業の新規立案	
☐ 事業の廃止・縮小	
☐ 事務事業の再編	
☒ その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

市内経済が回復傾向にあるものの、物価高騰や記録的な円安など、市内事業者を取り巻く環境は依然厳しい状況である。引き続き、社会情勢を鑑みつつ、市内経済の活力を引き出し高めていくなどの政策的な取組を実施して、市内産業の振興を図っていく。	
所属長	産業振興部長 三浦 聖樹